

## 情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

## パルスフィールドアブレーション後の無症候性脳梗塞について の後ろ向き研究

### 1 研究の対象

2025年3月1日から9月30日までの間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院循環器内科で心房細動のためパルスフィールドアブレーションという治療を受け、術後に頭部MRI検査を受けられた方

### 2 研究目的

無症候性脳梗塞の発生率やリスクを解明することを目的とした研究を実施するため、研究者が診療情報をもとにデータを選択して、分析をおこない、無症候性脳梗塞に係る因子の検討を行います。

### 3 研究に用いる試料・情報の種類

- 基本患者情報: 年齢、性別、身長、体重、BMI、背景疾患(高血圧症、糖尿病、心不全、脳卒中、動脈硬化疾患、心房細動の種類(発作性・持続性)、持続性心房細動の持続期間、CHA2DS2 score、CHA2DS2-VASc score、薬物療法の有無( $\beta$  ブロッカー、抗不整脈薬)など
- 検査所見: 心エコー所見(左室駆出率、左房径)、術後MRIの所見など

- 手技関連情報: 手技時間、左房内手技時間、アブレーション時間、透視時間、アブレーションのアプリケーション数、カテーテル交換回数、使用カテーテル、施行手技内容など

#### 4 研究組織

当院単独での研究です

#### 5 情報の提供先・提供方法

当院にて扱います。

#### 6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

#### 7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎: 代表 011-261-5331 内線 4227）

研究責任者: 循環器内科 田中 裕紀

問い合わせ担当者: 循環器内科 田中 裕紀